

私たちの組合活動もSDGsの目標達成に貢献しています！



貧困、紛争、気候変動、感染症など、世界は今数多くの課題に直面しています。それらの課題を整理し、解決方法を考え、「持続可能な世界を実現するために進むべき道」を示したものがSDGsです。「誰ひとり取り残さない」ことをめざすSDGsと組合活動。どのような関係性があるのでしょうか。

SDGsって何だろう？

● 私たちがこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき17の目標です

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連総会で採択された、2030年までの国際的な成長目標のことで、

世界は今、貧困や温暖化、感染症などの数多くの課題に直面する中で、このままでは人類が安定して暮らし続けることができなくなると心配されています。

そんな危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標（SDGs）」です。

SDGsの17の目標



SDGsって組合活動と関係あるの？

● 組合活動もSDGsの目標達成に貢献しています

私たちが暮らし続けられる世界をつくるために、SDGsが示した目標達成に向けて取り組むことが求められています。そのためには、国や企業だけでなく、私たち労働者一人ひとり、また、その集まりである労働組合も取り組まなければなりません。実は、組合活動もSDGsと関係しています。例えば、各組合の「春闘」の取組みもSDGsの目標達成に貢献しています。

春闘(「総合生活改善闘争」)の取組み	関連する主なSDGs
<ul style="list-style-type: none"> ● 全組合員参加による総合生活改善闘争を推進する ● 営業職員の魅力ある働き方を実現する <ul style="list-style-type: none"> - 営業職員に対する活動支援の取組み - 魅力ある労働条件・働き方の実現 等 ● 安心と働きがいのもてる労働条件をつくる <ul style="list-style-type: none"> - 賃金改善の取組み - ワーク・ライフ・バランスの実現 - 多様な人材が活躍できる職場づくり 等 	

また、みなさんが普段の暮らしの中で取り組める例として、生保労連が推進している「エコキャップ回収活動」や「エコライフ運動」があります。これらも環境問題への取組みとして、SDGsの目標達成に貢献しています。一人ひとりの意識や行動の変革が持続可能な社会の実現につながることであります。

次号では、生保労連の環境問題への取組みについてご紹介します。